

SSKP

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



# いずみ

No.  
177

2015年6月

社会福祉法人 泉会

泉会事務局 〒157-0073 世田谷区砧8丁目31番3号 メゾン成城202号 TEL03(5429)6721(代) FAX03(5429)6722  
info@izumikai.jp http://izumikai.jp

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)  
二〇一五年五月十二日発行(SSKP通巻六〇一九号)



世田谷美術館「東宝スタジオ展 映画＝創造の現場」に行ってきました。(玉堤分場)

### ●本年度の聖句

わたしは神が宣言されるのを聞きます。  
主は平和を宣言されます  
御自分の民に、主の慈しみに生きる人々に  
彼らが愚かなふるまいに戻らないように。

(詩編85編9節)



## 戦後15年には

理事長 佐分利 正彦

今年には戦後70年に当たる節目の年ですが、私にとつて最も記憶に残る節目の年の一つは戦後15年に当たる1960年、昭和でいうと35年です。

この年、私は高校を卒業して大学に入学しました。入学したとたんに、「安保改訂反対闘争」に向き合うことになりました。いわゆる「六十年安保」と称され、アメリカ合衆国との間で結ばれた安全保障条約が10年経過したところでの、改定の年に当たっていました。当時の学生運動の指導者達はこの改定に強く反対し、大勢の一般学生を巻き込んで反対運動を行ったのです。

高校を卒業したばかりの私にとつて、今まで全く意識したことのない政治的な課題に対して、まともな意見を持つことは困難でした。そして、上級生達の弁舌を聴きながら、数年という年齢差以上の意識・認識の違いを感じていました。今年のNHKの大河ドラマでは、幕末の長州藩における青春群像が取り上げられていますが、六十年安保の頃の大学生との間に、何か共通するものがあるように思います。思い当たることの一つは、どちらの時代の若者もよく本を読んでいたことです。よく読書し、よく議論して、その上で自らの考えを固めていたと思われれます。

話は飛びますが、大学に勤めていた頃、学生の中にアメリカの大学への留学を希望する者がありました。指導者としてその学生の希望を叶えたいと思いました。アメリカの大学から送られてきた書類を完成する際に、強く印象に残った評価項目があります。それは「matured」という項目です。日本語にすれば「成熟度」ということになるでしょう。しかし、アメリカの大学が大学院入学を希望する22から23歳の学生に期待する『成熟度』の中味はどのようなものだったか、分らないままです。

いずれにしても「六十年安保」の頃の大学生は、『成熟度』の点では現在の大学生よりも上だったように思います。そしてその差は読書量の差によるのではないかと最近考えています。

# 新しいグループホームの 生活が 始まりました



グループホームのぞみの外観

## 海老原さん

この度、グループホームのぞみに入られて良かったです。今まで通所ホームでは、一人で食事をしていたのが、今度は自分以外の人と食事をするのと、食事を作ってくれる人がいるのでとてもおいしく、また食事の時間が楽しくなりました。これからは、皆と仲良く生活していきたいと思っています。



食事の様子

## 金子さん

自分は、平成19年2月26日に日の出舎へ入所して、今年で8年目になりました。そして今、ゆめと言うか、

目標がかないました。グループホームいずみでの生活はまだ始まったばかりですが、のぞみの職員は良い方ばかりで、手作りの食事もおいしく、本当に良いと感じています。これから自分も色々な事を頑張っていきたいと思っています。

## 沖倉さん

グループホームのぞみでは、食事がおいしくて、一緒に暮らす人達とも楽しくできているので、とても良かったです。秋川駅や線路が近く、うるさいので、朝寝がられないこともあるけど、色々なことが自由にできるようになってとても楽しいです。これからは約束を守ってがんばっていきます。



部屋からの1コマ

**グループホーム職員より**  
皆様の多大なるお力添えのおかげで、五日市線の秋川駅から徒歩3分という好立地に身体障がい者知的障がい者対象のグループホーム「のぞみ」が平成27年4月1日に誕生しました。  
定員は6名で、現在は男性入居者ばかり3名での生活ですが、お互いがお互いの個性を尊重し合いながら地域生活に向けた第一歩として、「自分の事は自分でやる」を目標にしております。  
グループホームでの生活が始まり、あっという間に1ヶ月が経ちました。荷物整理や共同生活のルール作りなど、職員と共に3人が中心となり、ひとつひとつ丁寧に考え、実行しながら楽しく生活していきます。

まだまだできてきたでのグループホームで、様々な問題や課題に直面すると思いますが、竣工式で金井理事からお聞かせ頂いたキリストの教えと、バックアップ施設である日の出舎からのご協力や、経験のあるグループホームいずみの方々にもお知恵を頂きながら、逃げることなく正面からぶつかり、一つずつ乗り越えていこうと思っております。今後ともご指導宜しくお願いいたします。  
(小林 正稔)

## 求める者には 良いものが



(グループホームのぞみ竣工式の説教より)  
理事・祐教会牧師 金井美彦

イエス・キリストは非常に前向きな方でした。たとえば「汝の敵を愛せよ」「狭い門から入りなさい」など、多くの皆さんが一度は聞いたことのある言葉でしょう。本日の聖句(マタイ伝7章7節「求めなさい。そうすれば与えられる」)もその一つで、キリスト教の人々の生き方を象徴する言葉です。

ご存知のように、とりわけ障がい者福祉の世界は、多くの偏見や誤解のもとにありました。それゆえ、それらに対して、長くたかかってきた歴史があります。当事者も援助者も、常識と違っていた様々な見方や考え方を少しずつ変え、あるいは壊し、そして乗り越えてきました。このような営みを弛まず続けること、これが「求める」ということです。

近代の社会福祉は実のところ

キリスト教の思想を基にしています。それはあらゆる人々が、等しく「命の神ヤハウェ」によって創造されたかけがえのない神の似姿であるという考えに基づいています。それゆえ一人ひとりがその持てる力を存分に花開かせなければなりません。それが生きることの意味だからです。キリスト教はただ生きればよいと言わない。十全に生きる、自分の可能性を使いきることを求めています。

それは障がいがあるとしても全く同じです。だから、障がいを負う人々自身が求めなければならない。しかし、普通は障がいのある人には、周りの人が施しやお恵みを与えなければならぬと考えるてしまします。だから施される側はその施しを有難く頂戴するのが礼儀であり、その中身に不満があってもそれを言うことはおこがましいことだと思わされる。しかしこれは根本的に誤っています。恵みを施される客体ではなく、求める主体とならなくてはならない。そしてたとえ重い障がいでも意思の

表示ができないとしても、その人がそこに存在するという事実が根源的な「求め」そのものなのです。

そして彼らの「求め」の実現を求める人が福祉に関わる人です。この両者の、つまり福祉の享受者と援助者、この両者の求める力が、適切に重なり合った時に、福祉は極めて豊かなものになる。つまり求めるものが与えられたのであり、見つかったのであり、門が開かれたのであり、そして本日の竣工式こそ、その実現なのです。

本日を機に、また新しい門をたたき、次の新しい何かを探す旅が始まるのです。



牧師様の話



相談支援のメンバーで話し合っています

## 相談支援センターおかもと 始まり始まり

4月から世田谷地域での相談支援を行うことになりました。当面は法人の利用者で、まだ相談支援事業を利用していない方を対象に進めていく予定です。

利用者の希望する生活に少しでも近づくように、地域のサービスを組み合わせて計画を作成しますが、まだ地域の事業者との繋がりが少ないので今後は色々な事業者と連携がとれるようにしたいと思います。

(国生 いづみ)

## 法人本部

「サービスの質の向上に向けて」

障害者福祉を取り巻く環境の変化に対応するため、法人組織の再構築と組織強化に取り組みます。

- 事業所が利用者支援の標準化に取組み、質の高いサービスを提供することで利用者から信頼を得て、満足度向上を目指します。
  - 法人一体経営に向けた組織体制の再構築と組織強化を進めます。
  - 社会貢献事業の取り組みを進めます。
  - スキルアップ研修、新人育成や管理職員の育成システムを再構築します。
  - キャリアパス、ワークライフバランス、メンタルヘルスの取り組みを進めます。
  - 非常勤職員の人事制度を整備します。
- 今年も、利用者の皆さんに寄り添ったサービスの提供に向け、本部の果たすべき役割、事務局のあり方を検討し、事業運営に努めます。

## 日の出舎 就労日の出舎 相談日の出舎 グループホームのぞみ グループホームいずみ

「地域障がい福祉の主軸として」

施設利用者や地域にお住いの障がい者のニーズと福祉施策の動向を勘案しつつ日の出エリア事業所として地域福祉の一翼を担ってまいりました。相談支援はほぼ軌道に乗り、地域で唯一の身体障がい者対応グループホームも4月1日に開設の運びとなりました。今

年度は次なる事業の整備として、通所ホームの転用と就労日の出舎の施設整備（建設）です。同時に、通所生活介護事業を行いません。また、都の事業であるグループホームいずみは、来年4月1日に国の制度の総合支援法に基づく事業への転換を目指します。

- の研鑽。
- 社会的機能の向上
  - 地域障がい者支援の具体的な実施。
  - 経営基盤の強化
  - 財務（執行）状況の整理。
  - 人財育成
  - 育成システムの見直し。
  - 業務・組織改善
  - チーム業務（支援）体制の再構築。
- 以上、今年度も施設整備を実施する事となりました。皆様、更なるご協力をお願い申し上げます。

- 【事業所目標】
- 日の出舎：通所生活介護の実施。
  - 就労日の出舎：作業環境の整備。
  - 相談日の出舎：地域障がい者への支援拡大。
  - GHのぞみ：新しい生活を考える。
  - GHいずみ：法内移行を目指す。

- 【重点課題】
- サービスの質の向上
  - 人権擁護に徹した支援の在り方

## 岡本福祉作業ホーム

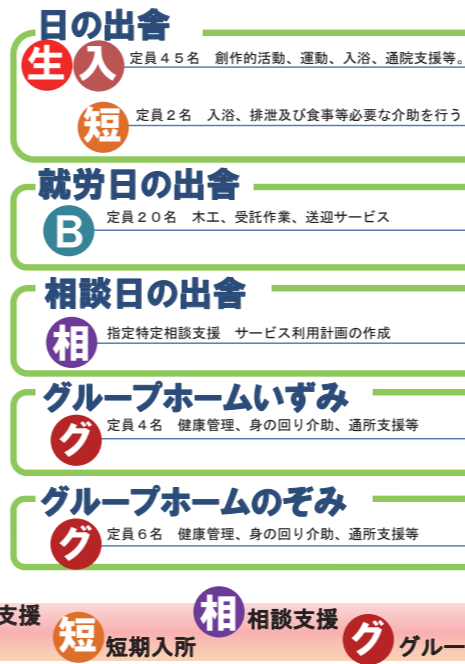
「望む生活の実現を目指して」

岡本福祉作業ホームは、Ⅲ期3か年計画に沿ってコンプライアンスを遵守し事業運営を行います。また、今年度は、環境分析と目標達成の見通しを立て次の重点目標に取り組みます。

【事業所目標】

- 利用者が自分らしく地域ですこせするように支援を行います。
  - サービスの水準の向上
    - 多様なニーズへの対応
    - 権利擁護・人権尊重
    - リスクマネジメントの充実
    - 本園と分場の支援の標準化
  - 法人の社会機能の強化
  - 地域社会との連携強化
  - 財政基盤の安定化
  - 財務経営指標の設定
  - 人材育成・人事制度
  - 将来を担う人材確保と育成
- また、今年指定管理者の更新の年です。2期10年間の実績を踏まえ、地域から信頼される法人として、ニーズに応じた計画を提案して参ります。今年も、皆様の「ご支援」ご協力をお願い申し上げます。

## 日の出エリア



## 世田谷エリア



## 相談支援センターおかもと

利用者の希望する生活を送れるように、世田谷区、保健医療機関、地域の障がい福祉サービス事業者等と連携してすすめていきます。

【事業所目標】

- 世田谷3事業所の利用者に相談事業の利用促進を図ります。
- 関係機関と良好な関係を構築し連携が取れるようにします。

## 玉堤分場

「寄り添う支援」

利用者の障がい特性や年齢に応じた支援を行います。

【事業所目標】

働くことを通してあなたの笑顔を応援します。

- 利用者一人ひとりの障がい特性や年齢、経験等を配慮し、ライフステージごとの課題を理解し寄り添う支援を行います。
- サービス等利用契約書に沿って適切な支援を行えるよう、地域のネットワークを活かし事業を展開します。
- 就労移行就労継続B型の事業を通して、一人ひとりの状況の変化を見ながら、適切な環境づくりに努めます。

今年も一人ひとりが役割を持ち、活動の成果を発揮できるように進めます。皆様の「ご協力」をお願いします。

## 泉の家

「チェック機能の確実実施」

権利擁護・虐待防止の観点からリスクマネジメント委員会を毎月開催します。行動規範チェックを毎月、虐待防止職員セルフチェックを3か月毎に実施します。その他、オンブズマン・臨床心理・カウンセラーなどを活用します。利用される方が、安心して活動ができ、満足していただける事業所を目指します。

就労移行支援事業の見直しを進めます。定員6名を他事業に振り分け実施できるよう取り組みます。稼働率目標数値：生活介護80% 就労継続支援B型85% 年間平均目標工賃：15,500円

【事業所目標】

「わ」輪と和、をコンセプトに、利用者地域の中で活動を拡げます。

【重点課題】

- サービスの質の向上
- 社会機能の向上
- 財務基盤の安定化
- 人材育成制度・人事制度



## 泉の家だより



### 「お花見と『おそば』」

桜が咲き始めた3月27日、泉の家の給食メニューで『お花見弁当』が出ました。この日、生活介護ではお花見のため、砵公園に1日外出をしました。

ブルーシートを敷き、お弁当を配り、青空の下でお花見弁当を食べました。桜は一分〜二分咲きでしたが、普段とは違う昼食に、みなさん



天気も良くて、お花見日和



外で食べるお弁当は格別

会話が弾みます。

昼食後は散策や、お昼寝、各自思いの時間を過ごしました。

1日外出のお花見計画は、利用者の声から生まれました。前回のお花見で「桜を見ながらお弁当を食べたい」という意見が多く、その希望を叶えるべく、お花見弁当を依頼しました。給食委託会社(株)グリーンハウスが快く引き受けてくださり、お花見弁当を持つて、お花見を実施することができました。

今後も利用者の声を、活動に繋げていきます。

(水原 咲子)

## 玉堤分場だより



### 「手作りクッキー好評！」

#### 日赤のひんす

先日、『世田谷日赤のつどい』で販売を行いました。  
心配された天候も、晴れやかな日となり、世田谷区役所第一庁舎前に、たくさんの方が、立ち寄ってくださいました。

分場のクッキーは、プレーン味とココア味と、2つの味を詰め合わせたミックスの3種類、1つ1つの袋に、イルカや羊、ネコなどのイラスト入りのカラフルなラベルが貼られています。生地をこね、厚さを均一に伸ばし、丁寧に型抜きし、卵を塗ります。焼きあがったクッキーを計量して1袋に詰め合わせ、ラベル付けをします。利用者1人1人の丁寧な手作業によって、品質が保たれています。

立ち寄ってくださった方の中には、「素朴な味が好きなんですよ」とおっしゃる方や、「食べてみたらおいしかったから、また来ました」と、2回訪れる方もいらつしやり、とても



「こんにちは！手作りクッキーいかがですか？」

励まされました。ラベルのイラストも好評でした。食べやすい量と100円というお手頃価格で、家族や友人へのちょっとしたプレゼントに喜ばれるようですね。  
お昼時に集中して人が集まり、2時前には完売！空っぽの台を前に「笑顔は無料です！」との利用者のひとことに、さらに嬉しくなりました。感謝の1日でした。

(半澤 恵理)



## 日の出舎だより



### 「きりんさん販売始めました」

就労日の出舎では製材加工中に発生するおが屑を原料とした木質ペレットを製造しています。

木質ペレットの普及活動の一環として、ペレットグリルヒーター「きりんさん」の販売を始めました。燃料は木質ペレットで、屋外における調理やヒーターとして使用でき、河原や庭でのBBQに最適です。ピザや焼芋等も作れます。「きりんさん」のお尻はペレットタンク、お腹に炎が通って熱くなり、首は煙突です。簡単に解体ができ、コンパクトになるため保管場所も取りません。災害時、ライフラインが断たれたときにも活躍します。「きりんさん」1家に1台いかがでしょうか！

(加藤 圭介)

「きりんさん」 29,800円  
※送料は無料となります  
「専用ペレット3kg」 300円



ペレットグリルヒーター「きりんさん」

### 【お問い合わせ先】

TEL042(597)1451

就労日の出舎



### 「健康教室」

## 岡本ホームだより



岡本ホームでは手洗いやうがいなどの感染予防だけでなく、車椅子を使用する利用者の、車椅子自体の衛生面にも配慮しています。日常的に使用するテーブルや、手すり、ドアノブやパソコンのキーボードなどの消毒などにも気を配っています。

施設全体で衛生管理を行うことで、利用者自身も衛生に対する意識がより高まりました。

みんなが手を洗いやすいように、蛇口などを古いものから最新のものに変えるなど、実働面での配慮も行なっております。

また、健康教室という、即興劇を交えた勉強会を開きました。様々な意見・質問が飛び交う中、笑いも交え、衛生清潔とはを学びました。



職員による寸劇です

これらの試みから、より明るい清潔感のある施設へと変えることができましたと思います。  
この経験を生かし、これからも一層、衛生的で清潔な施設を目指していきたいと思っております。

(寺沢 武蔵)

第6回  
**成城音楽祭**



2015年3月31日(火)、チャリティコンサートを、いずみ友の会、東京成城ロータリークラブと共催事業として成城ホールにて開催しました。

東京成城ロータリークラブのご尽力により、ピアノ小林五月様、クラリネット藤井洋子様、チェロ毛利伯郎様を迎えることができました。また、ご協力いただいたミリオンコンサート協会の方に感謝申し上げます。

今回の演奏は、シューマン&ブラームスで迎える復活祭と題し、一部では、シューマンの森の情景作品82をピアノ・ソロで、ブラームスのクラリネット・ソナタ第二番をピアノとクラリネットで演奏しました。休憩後の二部では、ブラームスの6つのピアノ小品をピ

アノ・ソロで、クラリネット三重奏曲を、ピアノ・クラリネット・チェロにて演奏されました。大変魅力ある演奏の構成でした。小林五月様から曲の説明などしていただき、優しい雰囲気の中で、クラッ



クラリネット藤井洋子様 ピアノ小林五月様 チェロ毛利伯郎様

シクを楽しむことができました。友の会会長内田文二様には、数多くの方々を紹介していただき、297名定員を、ほぼ満席にすることができました。

法人理念を実行するためにも今後とも企画・実行をしていきます。

(保坂 俊晴)



東京成城ロータリークラブ  
会長 五来純氏



成城ロータリークラブによる  
成城ホール周辺の清掃活動

募金収入額 174,150円でした。  
ありがとうございました。



社会福祉法人 泉会  
理事長 佐分利正彦

\*社会福祉法人 泉会\*

|                                  |  |                          |   |
|----------------------------------|--|--------------------------|---|
| 法人本部<br>泉の家                      | 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号<br>☎03(3417)3451(代) 03(3417)3463<br>izumi@izumikai.jp                  | 岡本福祉<br>作業ホーム            | 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号<br>☎03(3415)3366(代) 03(3415)4976<br>okamoto@izumikai.jp |
| 日の出舎<br>就労日の出舎<br>相談日の出舎         | 〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番<br>☎042(597)1451(代) 042(597)2205<br>info@hinodesha.org                 | 相談支援センター<br>おかもと<br>玉堤分場 | soudan-okamoto@izumikai.jp  |
| グループホーム<br>いずみ<br>グループホーム<br>のぞみ | 〒197-0825 あきる野市雨間322-12<br>☎042(550)9083<br>〒197-0804 あきる野市秋川2-3-1<br>☎042(533)3608 042(533)3609 |                          | 〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号<br>☎03(5707)9431(代) 03(5707)9433<br>tamatumi@izumikai.jp  |

編集後記

機関誌いずみで泉会の活動や取り組みを皆さまにお伝え出来ているのか? よろしければご意見、ご感想をお寄せ下さい。 岡本福祉作業ホーム